



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.91
2018年 2月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

新現地スタッフ採用！！

皆さんこんにちは。2月は乾期真っただ中です。雨が降る日は少なく、乾燥しているため土ぼこりが空中を漂い、窓を閉めても部屋の中まで土埃が入ってきます。今月の Farm 通信は2月から採用した新職員のことと、農場の様子について報告したいと思います。



新しく採用予定ののトオン君



新しく採用予定のドウアン君

◇新職員採用

2月からSAJ Farmでは新しい現地スタッフを2名採用しました。トオン君とドウアン君です。トオン君は現在SAJ Farmで働いているプロイ君のいとこにあたります。年齢は18歳で学校は中学校を中退しており、クメール語の読み書きはできません。普段は家の仕事を手伝ったり、牛の世話をしたりして生活しています。他の農場スタッフとも一緒に遊んだり、活発な印象を受けました。

次にドウアン君は以前SAJ Farmで働いていたヌアン君の弟です。彼も18歳で中学を中退しておりクメール語の読み書きはできません。普段は家の手伝いをしているそうです。大人しそうですがとても真面目な印象を受けました。二人とも他の現地スタッフと家が近く、仲が良いようでした。

面接の後3か月の試用期間があり、試用期間の後、問題がなければ本採用になります。試用期間の間は日給が3\$、本採用になれば1カ月で130\$の給与になります。一緒に働くスタッフが増えることを、とても嬉しく思うこともあり、二人が仕事をさぼらずに真面目に働き、2人とも本採用できることを願うばかりです。



トラックの荷台に枝を積み込む様子

◇雑木伐採

農場の雑木の伐採を行いました。農場にはところどころに大きな雑木があり、作業をするうえで枝葉が伸びて道をふさいで邪魔になったり、景観も損なうため近隣の伐採業者を呼んで雑木を伐採してもらいました。全てを伐採するには2週間ほどかかり、残った丸太や枝葉は邪魔になるためトラックで運搬し、薪や建材に利用できるものは農場に保管し、残りは農場のいくつかの場所に集めて燃やすことにしました。写真は伐採した枝葉をトラックに積んでいるところです。トラックで何往復もかけて伐採した枝葉を回収しました。おかげで農場はさっぱりきれいな状態になりました。この状態を保てるよう管理していきたいと思います。



灌水ポンプ設置の様子

◇レモングラス灌水開始

2月雨の降らない日が続くため、レモングラス畑に灌水を開始しました。レモングラスの葉は水が少なくなると、葉から水が蒸散するのを防ぐため葉が丸まってきます。葉が丸まってきたら灌水を行うタイミングになります。レモングラスへの灌水はため池のそばにポンプを設置し、灌水用のホースを畑まで伸ばし、ホースと塩ビ管のアタッチメントとくっつけます。塩ビ管のアタッチメントには、水が出るように小さな穴の開いた塩ビ管が8列くっつけています。ポンプから水が送られてくると、塩ビ管の小さな穴から水が出て自動的にレモングラス畑に灌水ができる仕組みになっています。



張り替えたビニールハウスの様子

◇ビニールハウス張替

2月SAJFarmにあるビニールハウスのうち古い1棟のビニールの張替を行いました。以前張替を行ってから3年近くが経ちます。ビニールの破れも大きく目立ち始めたため張り替えることを決めました。ビニールの資材は以前購入していたところが取り扱いをやめたため、プノンペン別の資材店で売っていた物を使用しました。以前のものより薄いものですが、他の外国製の良いものは高く、また適当な大きさのものがなかったためです。またその他の資材も現地で調達出来るものを使用しました。張替には約3週間ほどかかり中にビニールシートを引きなおして完成です。